

各構想区域の地域医療構想 調整会議の協議状況について

平成31年(2019年)2月 熊本県健康福祉部

1 地域医療構想調整会議の開催状況

各構想区域における地域医療構想調整会議(以下「地域調整会議」)を次のとおり開催又は開催予定。

構想区域名	第4回	第5回	第6回(予定)
熊本・上益城	平成30年7月30日	平成30年11月12日	平成31年3月 5日
宇城	” 8月 1日	” 11月20日	” 3月 1日
有明	” 7月31日	” 12月10日	” 3月13日
鹿本	” 8月 7日	” 12月 4日	” 3月 7日
菊池	” 8月 8日	” 11月28日	” 3月20日
阿蘇	” 8月 6日	” 12月 6日	” 3月 7日
八代	” 7月27日	” 11月29日	” 3月19日
芦北	” 8月 3日	” 11月27日	” 3月13日
球磨	” 7月25日	” 12月 5日	” 3月19日
天草	” 8月10日	” 12月 3日	” 3月 6日

2 「政策医療を担う中心的な医療機関」の 役割明確化に関する協議(平成30年度に協議を実施した医療機関)

構想区域名	医療機関名
熊本・上益城	熊本地域医療センター、熊本中央病院、熊本市民病院、植木病院、山都町包括医療センターそよう病院、熊本機能病院及びくまもと森都総合病院
宇城	熊本南病院(NHO)、済生会みすみ病院、宇城総合病院及び宇城市民病院
有明	公立玉名中央病院、荒尾市民病院、玉名地域保健医療センター及び和水町立病院
鹿本	山鹿市民医療センター、保利病院、山鹿中央病院及び三森循環器科・呼吸器科病院
菊池	菊池中央病院、川口病院、熊本セントラル病院及び熊本リハビリテーション病院
阿蘇	阿蘇医療センター及び小国公立病院
八代	八代北部地域医療センター、熊本総合病院(JCHO)
芦北	水俣市立総合医療センター及び岡部病院
球磨	外山胃腸病院及び球磨病院
天草	天草中央総合病院(JCHO)、天草地域医療センター、上天草市立上天草総合病院、天草慈恵病院、天草第一病院及び苓北医師会病院

3 「政策医療を担う中心的な医療機関」の 役割明確化に関する協議(今後、協議予定の医療機関)

構想区域名	医療機関名
熊本・上益城	日赤・熊本健康管理センター、杉村病院、大腸肛門病センター高野病院、慈恵病院及び矢部広域病院
鹿本	山鹿温泉リハビリテーション病院及び山鹿回生病院
菊池	菊陽台病院、菊池郡市医師会立病院及び岸病院
阿蘇	阿蘇温泉病院、大阿蘇病院及び阿蘇立野病院
八代	熊本労災病院
天草	天草市立牛深市民病院、天草市立河浦病院、天草市立新和病院及び天草市立栖本病院【再協議】

全て、第6回(平成31年3月開催予定)で協議する予定

4 「その他の病院及び有床診療所」の協議

構想区域名	協議状況(H31.1.31調査時点)
熊本・上益城	地域調整会議の下に「運営部会」及び「審査部会」を設置 「非稼働病棟を有する医療機関」及び「過剰な病床機能への転換」案件の事前協議並びに病床機能報告結果の内容の精査
宇城	地元医師会で事前協議を行い、第5回地域調整会議に報告 非稼働病棟を有する医療機関以外、全て合意済み
有明	今後、地域調整会議の下に設置した「部会」で協議
鹿本	地元医師会で事前協議を行い、第5回地域調整会議に報告 非稼働病棟を有する医療機関以外、全て合意済み
菊池	現在、地域調整会議で協議
阿蘇	各有床診療所へ説明訪問 今後、地域調整会議の下に設置した「検討部会」で事前打合せ、地域調整会議で協議
八代	今後、設置した審査部会と第6回地域調整会議で協議
芦北	今後、地域調整会議で協議（来年度末までに終了の目途）
球磨	今後、地域調整会議の下に設置した「運営部会」で協議
天草	今後、地域調整会議で協議

5 地域調整会議で協議等が行われた主な事項 その1

非稼働病棟を有する医療機関に関する協議

1) 公立診療所の計画【第5回芦北】

芦北町吉尾温泉診療所の病床が非稼働となっているため、現時点における「今後の計画」を地域調整会議に報告し、協議を行った。

開設者である芦北町から「地域住民の意向を踏まえ、検討を進めたい」との報告があり、継続協議となった。

2) 非稼働病棟を有する医療機関の再稼働【第4回熊本・上益城】

構想区域内の医療機関から非稼働病棟を再稼働する旨の申し出があり、部会及び地域調整会議で協議を行った。

協議結果は、構想区域において不足している回復期への再稼働であること等の理由により、承認となった。

5 地域調整会議で協議等が行われた主な事項 その2

病床機能の転換に関する協議

1) 不足病床機能転換施設・設備整備事業【第5回】

菊池、八代及び芦北構想区域でそれぞれ1医療機関ずつの事業計画を協議し、承認された。

- 転換病床数：120床
- 交付申請額：126,664千円

2) 過剰な病床機能への転換

熊本・上益城構想区域の2医療機関から過剰な病床機能(高度急性期、慢性期)へ転換する旨の病床機能報告があり、部会で事前協議を行った。協議結果は、医療機関の誤報告であり、病床機能報告の修正となった。

3) その他の病床転換【第5回八代】

八代構想区域で4医療機関の転換計画を協議し、承認された。

- 転換計画：回復期への転換 249床
(急性期 46床、慢性期 79床、再稼働59床、病床再編による他医療機関からの65床)
- 廃止する病床 37床(慢性期)